

## 【新規】多種多様な職場開拓

### 1. 事業の目的

シルバー世代等を中心とした『生活に関する問題（住まい・借金等）は抱えていないが、将来的な困窮が想定される方』に対し、寄り添い型の就労支援等を行うことで、生活困窮への予防・早期発見を図る。

### 2. 事業の対象者

就労困難者（支援が遅れると将来的に生活困窮に陥ることが予見できる者。）  
別紙『キャリアスペースの利用者像』参照

### 3. 事業内容

働く意欲がありながら、子育てや年齢、健康や家族の問題等によりハローワーク等での就労活動では、就労決定が困難な方に対し、そのような事情を考慮した案件を開拓し、支援・紹介・あっせんを行う。

### 4. 当市の利用者ニーズ

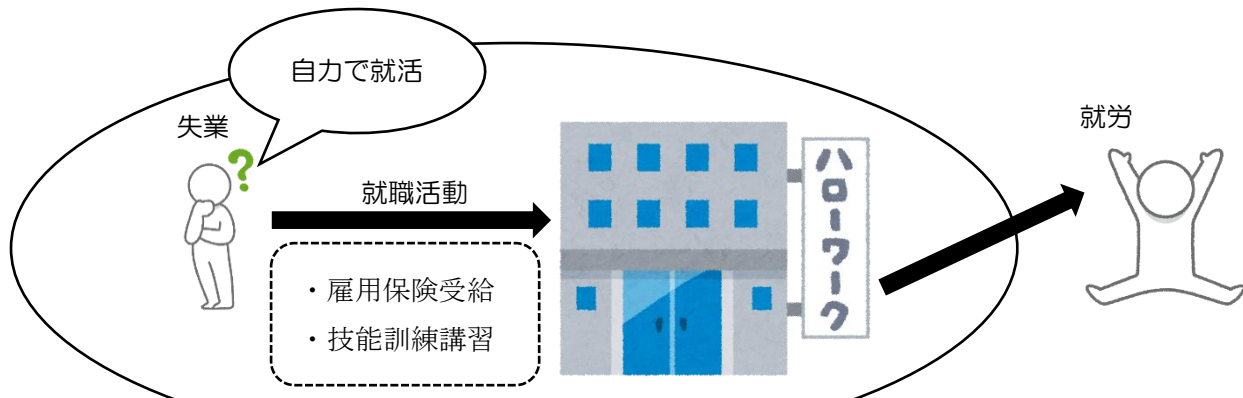
事業の利用者と考えられる高齢世帯やひとり親世帯が、生活に困り、ほっとシティ東村山に相談に訪れた数は、平成 27 年度、高齢世帯（70 歳以上と定義）が 102 件（23.2%）、ひとり親世帯が 29 件（6.6%）であり、平成 28 年度は高齢世帯 113 件（21.6%）、ひとり親世帯 36 件（6.9%）と相談者全体のおよそ 1/4 を占めている。

またそのうち、高齢世帯の就労相談者は、平成 27 年度 8 名、平成 28 年度 19 名となっており、一定数のニーズがあることが窺える

### 5. 事業効果

①ハローワーク（一般就労）とほっとシティ東村山（生活困窮者）の中間層の就労希望者に対する支援を充実させることで、生活困窮に陥る前の自立強化策としての役割を果たす。

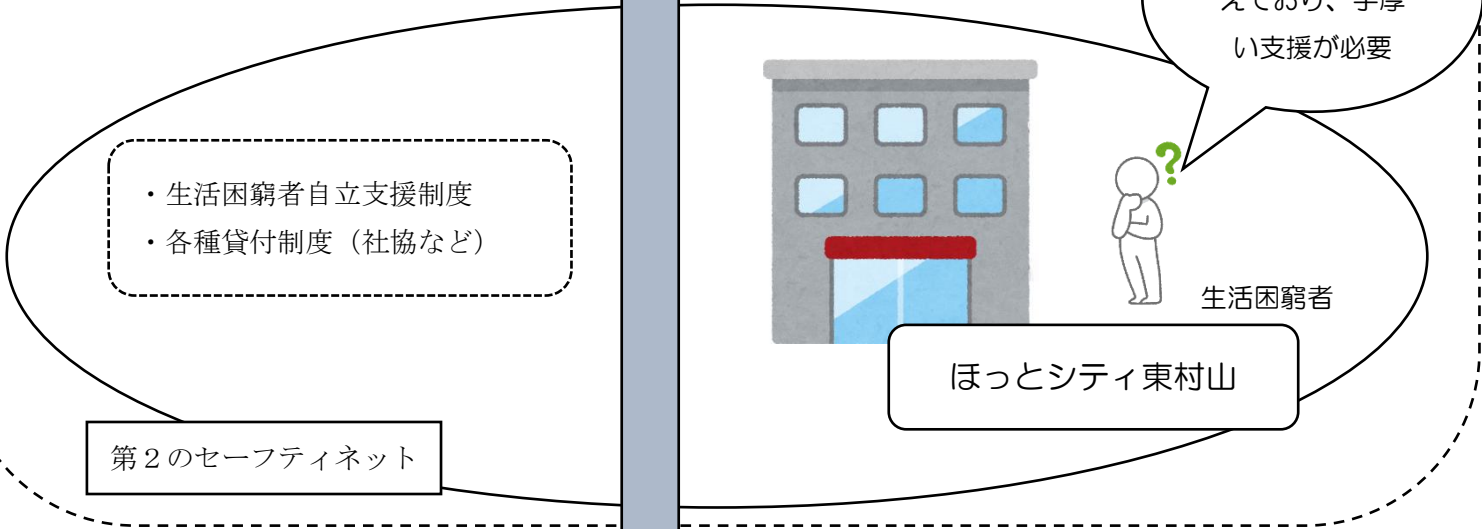
②生活困窮などといった枕詞のつかない就労支援窓口とすることで、相談の敷居を下げ、様々な相談者が訪れることが予測できる。その中から生活困窮者の早期発見し、現状よりワンテンポ早くほっとシティ東村山に繋げることができる。



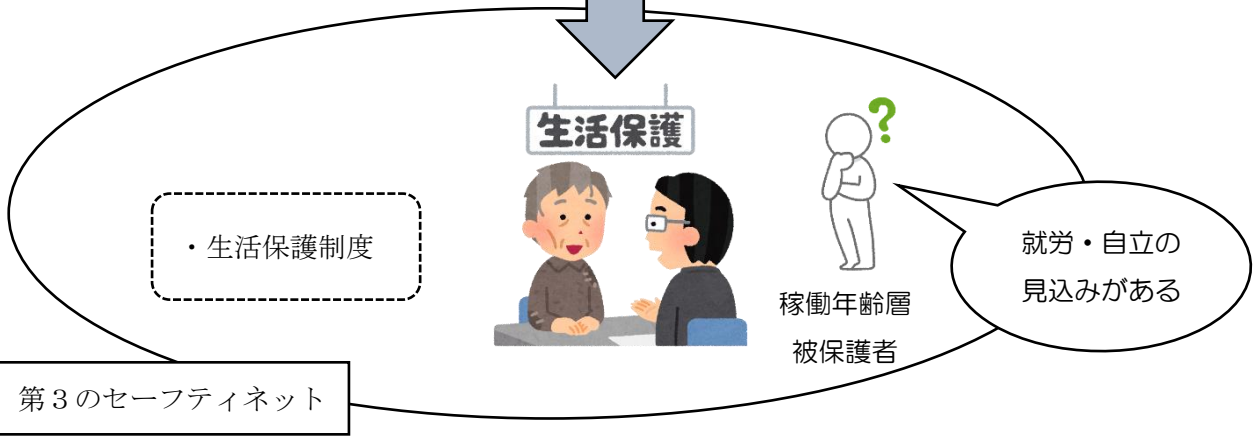
第1のセーフティネット



第1.5のセーフティネット



第2のセーフティネット



第3のセーフティネット

# キャリアスペースの利用者像

